

船舶事故調査報告書

平成28年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年6月26日 16時15分ごろ
発生場所	沖縄県竹富町竹富島南方沖 琉球観音埼灯台から真方位210°4.0海里付近 (概位 北緯24°18.4′ 東経124°04.5′)
事故の概要	旅客船第三十八あんえい号は、北西進中、暗礁に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年6月27日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船 第三十八あんえい号、19トン
船舶番号、船舶所有者等	293-35235 沖縄、有限会社安栄観光
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	右舷及び中央の推進器翼に曲損、右舷舵の脱落
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風速 約4.7m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期、潮高 約59cm（石垣）
事故の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、旅客57人を乗せ、船首約0.5m、船尾約1.4mの喫水で竹富町小浜港に向けて沖縄県石垣市石垣港を出港し、竹富島南方沖を約23～24ノットの対地速力で北西進中、暗礁に乗り揚げた。</p> <p>船長は、竹富島南方沖を北西進中、ふだん右舷方に見掛ける黒いブイが見当たらず、同ブイを見付けようとして、いつもの進路より北側を航行し、水路から逸脱していることに気付かなかった。</p> <p>船長は、GPSプロッターに石垣港から小浜港までの針路線が表示されていたが、その表示を確認していなかった。</p> <p>本船は、本事故後、旅客及び船体の安全を確認し、石垣港へ自力で帰航した。</p>
分析	本船は、船長が、ふだん右舷方に見掛ける黒いブイを見付けようとして、船位の確認を行っていなかったことから、竹富島南方沖の水路を逸脱していることに気付かずに航行していたものと考えられる。
原因	本事故は、船長が、船位の確認を行っていなかったため、竹富島南方沖の水路を逸脱していることに気付かずに航行し、暗礁に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れた水路であっても、GPSプロッターや物標などを見て船位の確認を行い、暗礁などからは十分な距離を保って航行するこ

	と。
--	----